



健康一口メモ

仙台市医師会  
広報委員  
大浦 敏博

新型コロナウイルスの影響でしょうか、当院でも小児患者の来院数が減少しています。特に肺炎、気管支炎などの感染症で来院する患児の数が大変少なくなっています。新型コロナウイルス感染防止のため、マスク、手洗い、うがいなどを励行していることが予防効果を発揮しているのは間違いないでしょう。感染症が減って、病院に掛かることが少なくなったのは、良いことです。一方、病院診療所に行くと新型コロナウイルスに感染するのではないかと心配し、予防接種のための受診を控える動きが広がっているという報道があり、小児科医は心配しています。

予防接種の推奨スケジュールは日本小児科学会からも出されていますが、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。生後2カ月から予防接種を開始することは、お母さんから胎盤を経由してもらった免疫が減っていく時に、かかりやすい感染症から赤ちゃんを守るために、とても重要です。生後2カ月になると、ロタウイルスワクチン、B型肝炎ワクチン、細菌性髄膜炎を予防す

## 予防接種は「不要不急」ではありません!

るヒブ・肺炎球菌ワクチンが、3カ月になると、治療法がないポリオや、複数の重篤な感染症を予防する4種混合ワクチンが受けられます。さらに、結核予防のためのBCG(5カ月以降)や、1歳になれば麻疹・風疹(MR)混合ワクチン、水痘、おたふくかぜなどのワクチンもスケジュール通りに受けられることが大変重要です。

予防接種を受けることは、不要不急の用事ではありません。予防接種の目的は、適切な時期に必要なワクチンを受け、かかってほしくない感染症に子どもが罹患しない様にする事です。ワクチンで防げる病気には、重い後遺症を残したり、命にかかわったりするものもあります。新型コロナウイルスの感染拡大は、接種を遅らせる理由にはなりません。事前にかかりつけ医と接種日や時間を調整するなどして、スケジュール通りに予防接種を継続していくことが大切です。

〔仙台市立病院

／太白区あすと長町〕

予防接種は  
スケジュール通りに!



〔2020年7月30日 執筆〕

50<sup>th</sup> ミヤテレビ

毎週月～金曜 午後3:50から  
宮城の最旬情報発信中!